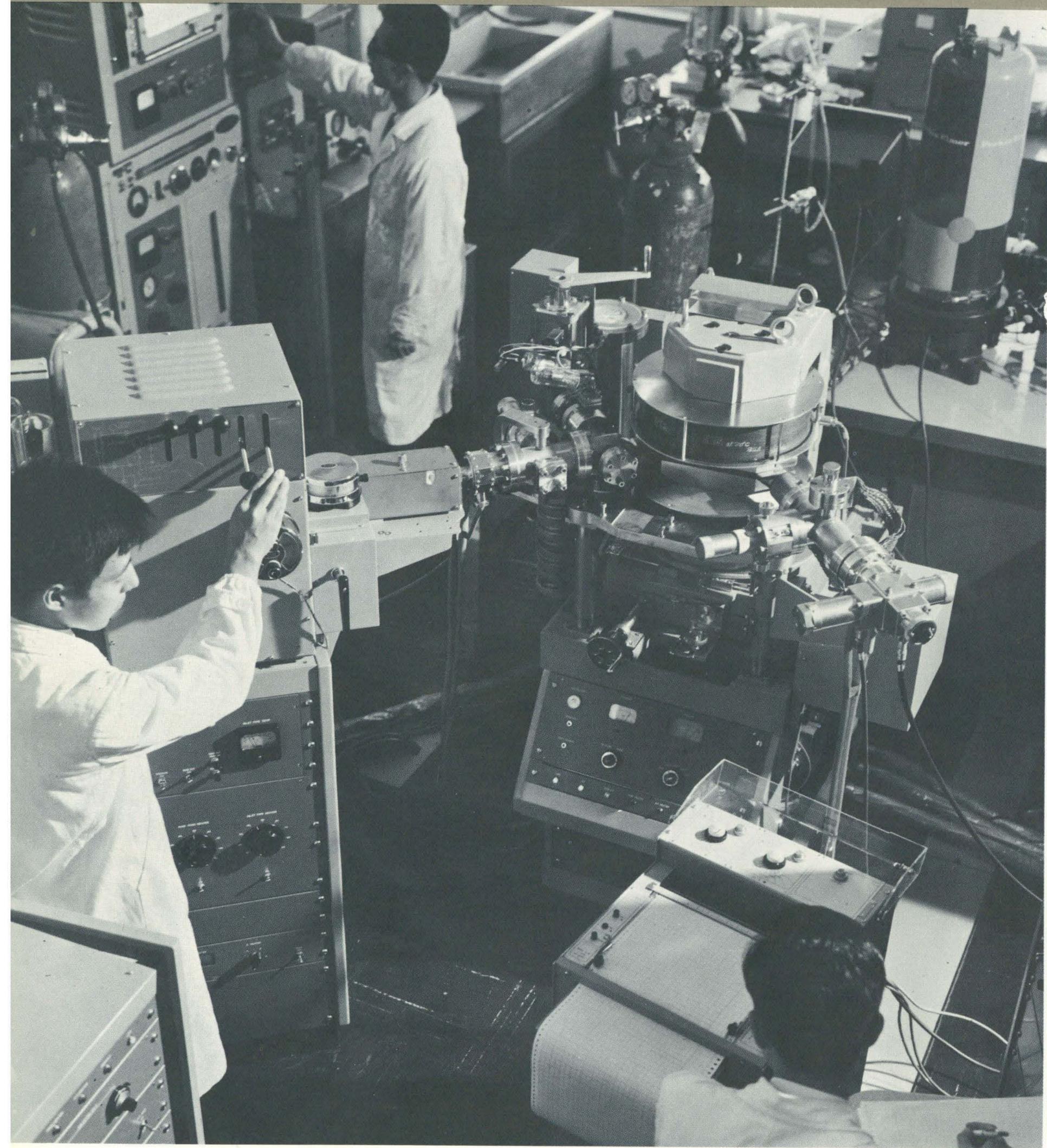


behind the accomplishments...



分析機器万能時代

A Time
of
Analyzing Instruments

分析化学が各種工業の広い分野で重要な役割を果しつつあることは今さらいうまでもないが、技術の進歩とともに精度、感度あるいは迅速性など分析法に対する要求は著しく高いものとなっている。これに対処するため分析機器が著しく進み、発光分光分析、紫外、可視、赤外分光分析、ガスクロマトグラフ、液体クロマトグラフなど各種の分析機器が開発された。これらは金属材料、有機材料、原子燃料あるいはボイラ用水などの分析に必要不可欠のものとなっており、まさに分析機器万能の時代となりつつある。写真は電場、磁場二重収斂方式の質量分析計で18,000の高分解能が得られ、金属抽出ガスや一般ガス分析のほか、ガスクロマト分解溶出成分の同定、さらに高分子有機化合物構造の解析に応用されている。今後も分析機器の進歩は諸工業の発展に大きな貢献をすることであろう。

(日立製作所 日立研究所)